



宮城県スキー連盟主催2021アルペン記録会
ジャイアントスラローム2位、スラローム3位

石越中3年 及川 菜々子
OIKAWA Nanako

「2021アルペン記録会」(宮城県スキー連盟主催)は1月9、10の両日、オニコウベスキー場(大崎市)で開かれ、石越中3年の及川菜々子さんがジャイアントスラローム2位、スラローム3位で全国大会出場を決めた。両競技は、雪山の傾斜に設置された旗門をスキーで通過しながら滑り降りるタイムを競うもの。

「今、できることをやろう」と前向きに捉え、筋トレを集中的に実践。トップ選手の動画を見て、滑り方も勉強した。

11月後半、シーズンが始まった。筋肉がついたことでイメージ通りの滑りができるようになっていた。12月、中止だったはずの記録会開催の吉報に「実力で全国大会出場」を目標に必死で練習に励んだ。

ジャイアントスラローム。1回目を滑り終え全体の4位。「私ならもっと滑れるはず」と2回目のスタートラインに立つ。ミスなく滑りきり、合計タイムで2位に浮上した。2日目はスラローム。1回目を軽快に滑り、1位に0.32秒差の2位につけた。2回目、優勝の可能性が見え、少し慎重になったが、終わってみると3位。見事実力で全国行きを勝ち取った。

止が決定。「今年度はほかのスポートも中絶体で中止だった。全国大会出場を目標に県で競えただけでも幸せ」と気持ちを切り替えた。

高校進学後も競技を続けるという及川。「装備を買いそろえ、練習の送迎までしてくれ、両親には感謝しかない。結果を出して両親に喜んでもらえることが一番うれしい」と話す。日々の積み重ねが結果につながることを実感できた年となり、「コロナ禍で唯一よかったこと」と及川は笑った。



変わる 防災行政無線

災害時における緊急情報や行政情報、地域のイベント情報など、私たちへの情報伝達手段としての役割を果たしている防災行政無線。2020年度から防災行政無線のエフエム化を進め、21年度中に運用を開始します。今号では、エフエム化することによって防災行政無線がどのように変わるかについて紹介します。

- 整備に関すること＝総務部総務課(防災係)
☎0220(22)2091
- ▶ 放送に関すること＝まちづくり推進部
まちづくり推進課(広報係) ☎0220(22)2147